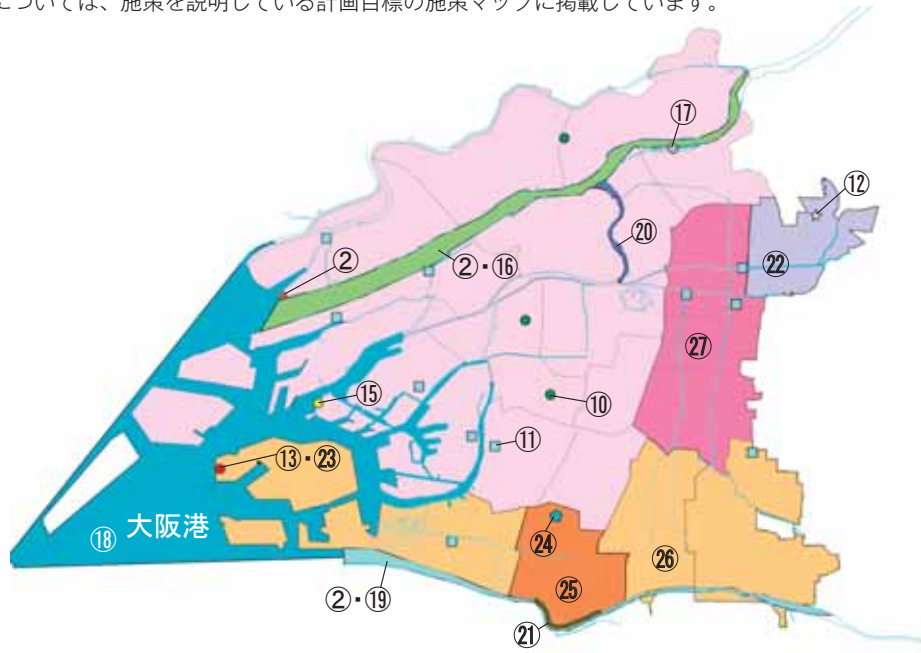


■協働の推進による施策一覧

番号	施策名	凡例	場所
①	「(仮称)水環境協働推進会議」の設置		市内各所
②	楽しい水辺教室の開催	■	淀川・矢倉海岸・大和川
③	協働施策PRパンフレットの作成		市内各所
④	市内水辺マップの作成		市内各所
⑤	水の流れツアーの開催		市内各所
⑥	水のあれこれ?! 親子で学ぶ体験バスツアーの開催		(琵琶湖)
⑦	出前講座(下水道の役割としくみ)の開催		市内各所
⑧	出前講座(水道事業の紹介)の開催		市内各所
⑨	水道教室の開催		市内各所
⑩	公園ビオトープの活用	●	高岸公園(浪速区)・ 日之出公園(東淀川区)・ 阿波座南公園(西区)
⑪	下水処理場の一般公開	■	下水処理場(大野・海老江・ 今福・放出・中浜・平野・ 津守・住之江・千島・市岡・ 此花)
⑫	市立環境学習センター(生き生き地球館)の利用	☆	生き生き地球館
⑬	大阪南港野鳥園の利用	●	大阪南港野鳥園
⑭	(仮称)おおさか環境科の創設		市内各所
⑮	エコアートフェスタ大阪の開催	●	天保山
⑯	淀川流域交流創造事業の実施	■	淀川
⑰	淀川ワンド環境保全活動(淀川クリーンキャンペーン)の実施	●	淀川(旭区内)
⑱	大阪湾クリーン作戦の実施	■	大阪湾
⑲	大和川・石川クリーン作戦の実施	■	大和川
⑳	大川かたづけ隊の実施	■	大川
㉑	大和川右岸河川敷(山之内地区内)草刈及び清掃事業の実施	■	大和川右岸河川敷
㉒	つるみクリーン井路作戦の実施	■	鶴見区
㉓	リフレッシュ瀬戸内・クリーンアップキャンペーン活動の実施	●	大阪南港野鳥園
㉔	万代池を対象とした市民協働による公園池水質改善及び生物多様性都市空間創造を目指した調査研究の実施	●	万代池
㉕	すみよし環境区民会議の開催	■	住吉区
㉖	好っきやねん大和川大阪4区サミットの開催	■	平野区・東住吉区・ 住吉区・住之江区
㉗	市民が取り組む平野川環境景観保全活動を通じたまちづくり活動の推進	■	平野川流域
㉘	河川愛護団体交付金による活動支援		市内各所

※再掲施策については、施策を説明している計画目標の施策マップに掲載しています。



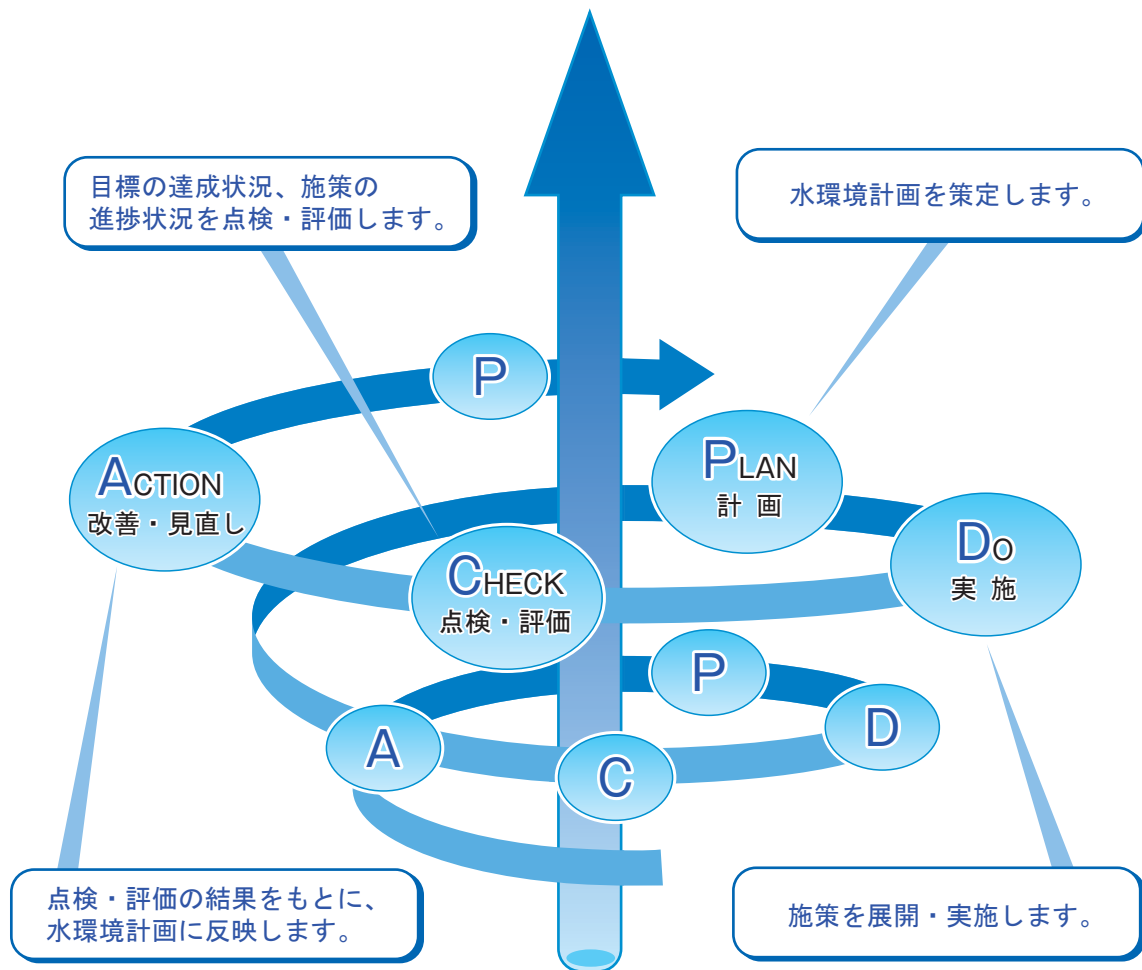
※番号①③④⑤⑦⑧⑨⑭⑲の施策は市内各所で行われています。

■協働の推進による施策マップ

# 第5章 計画の推進

## 第1節 本計画の改善・見直し

計画開始から5年後に、社会経済情勢の変化、住民ニーズの変化や技術開発の進展などをふまえ、目標の達成状況や施策の進捗状況を把握し、計画目標の達成に向けた取組が推進されているかを点検・評価・公表し、必要に応じて施策や計画を見直します。



■PDCAサイクルによる計画の進行管理

## 第2節 推進体制

大阪市水環境計画に基づいた施策を全庁的かつ着実に推進するため、「大阪市環境未来創造推進本部（仮称）」のもと、取組状況に関する情報の共有化、推進状況の把握、検証を行うなど、より効果的・効率的な施策の実施、各局間の連携を図ります。

第5章  
計画の推進  
第1節 計画の改善・見直し  
第2節 推進体制

# 用語解説

## 【あ】

### ●赤潮

海域で特定のプランクトンが大発生し、かつ水面近くに集積することによって、海水が変色（主に赤褐色）する現象のことをいう。赤潮は、プランクトンのもつ毒性や溶存酸素量の低下（貧酸素化）などにより魚介類をへい死させたり、生臭い臭気を発生するなどの被害をもたらすことがある。

### ●アルキル水銀 → 総水銀とアルキル水銀

### ●ウォーターフロント

水辺、水際の空間のこと。特に都市生活者の潤い空間として整備されたものを指すことが多い。

### ●雨水滞水池

降雨初期の汚れた雨水を一時的に貯留する施設のこと。なお、この雨水は、降雨後に下水処理場で処理した後、川などに放流する。

### ●雨水沈砂池

下水道の雨水処理施設で、雨水に含まれる大きなごみと土砂を取り除く施設のこと。

### ●雨水吐き口

合流式下水道において、降雨時に下水が一定量を超えると、その一部を直接、公共用水域へ流出させる施設のこと。

### ●雨水流出抑制施設

雨水を貯留させる施設や地下に浸透させる施設のことで、雨水の流出を抑制する施設のこと。

### ●雨天時下水活性汚泥処理法

（3 W処理法:Wet Weather Wastewater Treatment method）

大阪市が独自に開発した処理法で、雨天時に流入する下水の一部を反応槽の最終槽に流入させ、より多く下水を活性汚泥処理するための方法のこと。

大阪市では、平成18年度までに、全ての下水処理場で本法を導入している。

### ●栄養塩類

植物の生命を維持する栄養分として必要な、りん、窒素、カリウム、珪素などの主要元素とマンガンの微量元素のこと。

### ●SS（浮遊物質）

水中に浮遊分散している微小固形物質のことで、水の濁度（濁りの程度を示す指標）、BOD・COD負荷量が高くなる原因になる。単位はmg/Lで表される。

### ●大阪市環境基本計画

平成7年度に施行した「大阪市環境基本条例」の第8条に基づき、市民が安全で健康かつ快適な生活を営むことのできる良好な都市環境の確保を目的として、市域における環境の保全及び創造に

関する総合的・計画的な施策の基本となる事項を定めたもの。

### ●御田植（おたうえ）神事

稲作の始まりとともに、田んぼの神様を祭る田植え行事のこと。

## 【か】

### ●回遊魚

定まった季節または時期に、広い範囲のほぼ一定の経路を移動する魚のこと。

### ●外来種

他地域から人為的に持ち込まれた生物種のこと。

### ●川施餓鬼（かわせがき）

川辺や船を用いて行われ、施餓鬼法要の後に、水死者の法名を記した経木（きょうぎ）や供物（くもつ）などを川に流す仏事のこと。

### ●管渠（かんきょ）

人工的につくられた水路（水道や用水路、下水道など）の総称。

### ●環境基準値

環境基本法第16条において、人の健康及び生活環境の保全を図るため、各項目毎に定められた基準値のこと。

### ●環境基本計画 → 大阪市環境基本計画

### ●緩傾斜護岸

護岸・堤防の裾幅を拡げ、勾配を緩やかにすることにより、耐震性を高めるとともに、身近な水辺空間を実現して親水性を向上させた護岸のこと。

また、海中部では海藻を生育させやすく多様な生態系を創出できる。

### ●感潮域

河川などで潮の満ち引きが現れる河口から上流部までの地域のこと。

### ●急速ろ過池

下水の高度処理に用いられる施設であり、池に砂などのろ材を充填し処理水を通過させることで、処理水中の濁り成分を捕捉する。

### ●凝集剤添加型ステップ流入式多段硝化脱窒法

窒素とりんの同時除去を目的とした下水の高度処理方法のひとつ。無酸素槽・好気槽・無酸素槽・好気槽の4つの反応タンクで下水を処理する。

### ●下水高度処理水

高度処理によって生成された水のこと。

高度処理とは、活性汚泥法に代表される高級処理による下水処理水の水質をさらに向上させるために行われる処理法のこと。SS、BODをさらに除去するための急速ろ過法や、りん、窒素を除去するための嫌気好気法や硝化脱窒法などがある。

●高級処理

下水を標準活性汚泥法などによって処理することをいい、現在の下水処理において主流をなしている処理のこと。

●高度浄水処理

かび臭いにおいや、浄水場で塩素を使うことによってできるトリハロメタンなどを取り除き、より安全で良質な水をつくるために、これまでの浄水処理方法にオゾンと粒状活性炭による処理工程を加えたもの。

●恒流（こうりゅう）

潮の干満による周期的な流れを除いた定常的な流れのこと。恒流は、河川水や風、地形の影響などによって引き起こされる。

●合流式下水道

1本の下水管に汚水（家庭排水・工場排水・事業所排水など）と雨水を集めて流す下水道のこと。

【さ】

●酸化態窒素

亜硝酸態窒素と硝酸態窒素の総称で、アンモニア性窒素が生物化学的に酸化された場合に生成される窒素を指す。

●三十石船

江戸時代に活躍した、淀川を通じて大阪と京都・伏見を結ぶ旅客専用船のこと。米を三十石積めることからこう呼ばれた。

●（底質の）暫定除去基準

公共用水域の水質汚濁、魚介類汚染等の原因となる汚染底質の除去等の基準として昭和50年に定められたもの。この基準値を超える底質については浚渫、封じ込めなどの所要の対策を講じなければならないとされている。現在、水銀及びPCB（ポリ塩化ビフェニル）についての基準値が定められている。

●COD（化学的酸素要求量）

水中、底泥中の有機物を化学薬品で分解するときに必要な酸素量。水質の単位はmg/L、底質の単位はmg/gで表される。

●浚渫

港湾・河川・運河などの底面をさらって、土砂などを取り去る土木工事のこと。底質汚染を除去するためにも行われる。

●蒸発散

水面、地表面などからの水の蒸発と植物の葉面からの蒸散の現象を指す。

●除害施設 → 排除基準と除害施設

●植生

ある地域における植物体の集まりの総称のこと。

●親水空間

水と親しめる空間のことで、水環境の重要な要素の一つ。

●水質測定計画

水質汚濁防止法第16条の規定により、公共用水域の水質を常時監視するために行う水質などの測定について、測定項目、測定地点及び測定方法その他必要な事項を定めた計画のこと。

●せせらぎ

浅瀬などを水が流れる音、またその場所、小川、小流のこと。

●全窒素（T-N）

水中に含まれる窒素化合物の総量をいい、無機態窒素と有機態窒素からなる。動植物の成長に欠かせない元素であるが、水中の濃度が高くなると水域の富栄養化を招くことになる。単位はmg/Lで表される。

●全りん（T-P）

水中に含まれるりん化合物の総量をいい、無機態りんと有機態りんからなる。

りん化合物は窒素化合物と同様に、動植物の成長に欠かせない元素であるが、水中の濃度が高くなると、水域の富栄養化を招くことになる。単位はmg/Lで表される。

●総水銀とアルキル水銀

有機水銀と無機水銀をあわせたもので、生物にとって極めて有害な物質であり、急性的にも慢性的にも中毒が起こる。中でも、有機水銀のひとつであるアルキル水銀は、特に蓄積性が高く毒性が強い。底質の単位はmg/kgで表される。

●総量規制と総量規制基準

水質汚濁の防止を図るため、ある地域で排水される汚濁物質を、その地域全体の総量で規制しようとする規制方式の一つ。水質汚濁防止法で規定された指定地域内事業場ごとに算出されたCOD（化学的酸素要求量）、全窒素（T-N）及び全りん（T-P）の汚濁負荷量の許容限度が基準となる。

【た】

●ダイオキシン類

塩素を含む有機化合物質の一種で、ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシンとポリ塩化ジベンゾフラン及びコプラナーポリ塩化ビフェニルの総称であり、化学物質の合成過程、燃焼過程などで非意図的に生成される。水質の単位はpg-TEQ/Lで表される。



●高潮

台風や低気圧によって大気圧が下がり、海水が風に吹き寄せられることによって、海面が高くなること。

●地域冷暖房

一般的にはビルごとに設置されるボイラー、冷凍機等の熱源機器を一定の地域において地域冷暖房プラントに集約し、冷暖房や給湯用の蒸気、温水または冷水等を、配管により供給するシステムのこと。

●地球温暖化

石油や石炭の燃焼やフロン放出など人間の活動に伴い、温室効果ガスの濃度が増加し、地球全体として地表及び大気の温度が上昇すること。

●茅渚（ちぬ）

大阪府南部の和泉国にあたる地域の古称のこと。また、関西以西での黒鯛の呼び方のこと。

●抽水所（ちゅうすいじょ）

ポンプ場を指し、大阪市では、古くからこの呼称を用いている。

●潮汐（ちようせき）

月と太陽の引力によって、海水の表面が規則正しく昇降する現象のこと。月が潮汐を起こす力は太陽の2倍以上あるため、おもに月と地球の位置関係から、海域ごとの潮汐が決まる。

●底生生物

水域の生物のうち、水底をはい回ったり、穴をあけたり、また、水底や壁面に付着するような生物のこと。ベントスともいう。底生生物には、付着藻類、カイメン、フジツボ、貝類、ゴカイ、ヒトデなどのほか、ヒラメやハゼ類などの底生魚類を含む。

●DO（溶存酸素量）

水中に溶解している酸素量のことをいい、空気中から溶け込む酸素と、水中の藻類から排出される酸素から構成される。単位はmg/Lで表される。

一般に、魚介類が生存するためには、3mg/L以上の溶存酸素量が必要といわれている。

●底層DO（溶存酸素量）

海域や湖沼における底層の溶存酸素量のこと。単位mg/Lで表される。

●透視度

河川域では、水中に含まれる浮遊物質などによる濁りの程度を示す指標で、透視度計とよばれるメスシリンダー状の容器に試料水を入れ、底部にひかれた二重十字が識別できる限界の水の厚さを1cmを1度として表したものの。

●透水性・保水性舗装

透水性舗装は、透水性を有する材料を使用して、

雨水を表層から基層、路盤に浸透、または一時貯留させる構造とした舗装のこと。

保水性舗装は、道路表層に保水性の舗装材を採用した舗装のことで、そこに蓄えられた雨水を蒸発させ、路面の温度を下げる機能を有し、ヒートアイランド現象の影響を小さくすることができる。

●透明度

透明度板（セッキ円板）と呼ばれる直径30cmの白色円板を水面から識別できる限界の深さを表したものの。主に、湖沼、海域など水深の大きい水域で測定される。単位はmで表される。

【な】

●なにわエコポイント事業

市民のエコ活動にエコポイントというインセンティブを付与することにより、市民が積極的にエコ活動に取り組む仕組みを創出する事業のこと。

【は】

●排除基準と除害施設

工場や事業場からの排水が下水道管を損傷させたり、下水処理場の浄化機能に悪影響を与えたりするのを防ぐため、有害物質項目（カドミウムなど）と生活環境項目（BODなど）について排除基準が定められており、その基準を遵守するため工場や事業場に除害施設を設置している。

●排水基準

環境基準を達成・維持するために、工場、事業所などの大きな水質汚濁源に対して設けられた基準で、有害物質（カドミウムなど）と一般項目（BODなど）に分かれている。基準値は、有害物質については原則として環境基準の10倍、一般項目については、家庭下水と概ね同程度という考え方で定められている。

●配水池

給水区域の需要量に応じて適切な配水を行うために、浄水を一時貯える池のこと。

●BOD（生物化学的酸素要求量）

水中の有機物を微生物が分解するときに必要な酸素量のこと。単位はmg/Lで表される。

●ビオトープ

生物が互いにつながりを持ちながら生息している空間や、開発事業などによって環境の損なわれた土地・都市内の空き地・校庭などに造成された生物の生息・生育環境空間のこと。

●干潟（ひがた）

干潮時に沿岸域に現われる砂や泥がたまった場所のこと。内湾や入江など、外海の波の影響が少

なく、河川が流れ込み砂や泥を運んでくる場所に行ける。

陸から流れ込む有機物をアサリやゴカイなどの底生生物が分解するため、水質浄化機能が高い。

底生生物を餌とする魚類や水鳥などが数多く集まるため、藻場と同様、多様な生き物が生育したり、餌を食べる場となっている。

#### ●PCB

PCB（ポリ塩化ビフェニル）は、不燃性で化学的にも安定しており、熱安定性にも優れた物質で、絶縁油、熱媒体など幅広い用途に使用されていた。カネミ油症事件の原因物質であり、中毒症状として、目やに、爪や口腔粘膜の色素沈着、座瘡様皮疹（塩素ニキビ）、爪の変形、まぶたや関節の腫れなどが報告されている。水質の単位はmg/L、底質の単位はmg/kgで表される。

#### ●ヒートアイランド現象

都市活動に伴うエアコンなどの排熱や地表面のコンクリート化等により、都市の気温が郊外と比べて高くなる現象のこと。等温度線を描くと、温度の高いところが島のように出現するので、ヒートアイランド（熱の島）と呼ばれている。

#### ●ヒートポンプ

水を低い所から高い所に押し上げるポンプのような原理で低温側から高温側に熱を移動させる仕組みのこと。

ヒートポンプに利用可能な熱源として大気、地下水、コンピュータ排熱、ビルの雑排水、海水、下水、浴場排水などがある。

#### ●貧酸素水塊（ひんさんそすいかい）

貧酸素水塊とは、海域、湖沼等の閉鎖性水域で、魚介類の生存が困難なまでに溶存酸素量が低下した水の水塊のこと。

通常、海底では、富栄養化によって異常に増殖したプランクトンが死滅して沈降し、それをバクテリアが活発に分解するため、溶存酸素量が極度に低下する。

#### ●富栄養化

水の流れが少ない閉鎖性水域で、人間活動の影響により栄養塩類である窒素、りんなどが流入し、これらの濃度が上昇すること。富栄養化が進行すると赤潮の原因となる。

#### ●伏見船

江戸時代、伏見から淀川筋を大阪辺まで往復した十五石積みの貨客船のこと。

#### ●伏せ越し

下水道の管渠が河川や地下鉄道などの地下埋設物を横切る場合、管渠を地下埋設物より低く設

定し、上・下流管の水位差によって下水を流下させる管渠の構造物のこと。

#### ●船渡御（ふなとぎよ）

祭礼などにおける神事の一つ。神体や神霊を船に乗せて川や海を渡す。

#### ●分流式下水道

汚水及び雨水をそれぞれ専用の管渠で集め、汚水は下水処理場へ、雨水は川や海に直接放流する方式の下水道のこと。

#### ●閉鎖性海域

湖沼・内湾・内海など水の出入りが少ない水域のこと。一般に水質汚濁が進行しやすい。

#### ●掘割（ほりわり）

地面を掘ってつくった水路のこと。

### 【ま】

#### ●藻場（もば）

沿岸域の海底で、様々な海草・海藻が群落を形成している場所のこと。主として種子植物であるアマモなどの海草により形成されるアマモ場と、主として藻類に分類されるホンダワラ、コンブ、ワカメといった海藻により形成されるガラモ場がある。

#### ●水の回廊

大阪市の中心部に位置する大川、土佐堀川、堂島川、木津川、道頓堀川、東横堀川によって形成される口の字型の河川の回廊のこと。

### 【や】

#### ●遊山船（ゆさんぶね）

江戸時代の盛夏に、川涼みなどに用いられた船遊びの船のこと。

#### ●溶存酸素 → DO（溶存酸素量）

### 【ら】

#### ●流域別下水道整備総合計画

水質環境基準の類型指定がなされている水域における下水道整備に関する総合的な基本計画であり、下水道により処理する範囲、施設範囲、事業整備の実施順位等について、下水道法第2条の2に基づき府県が策定する計画のこと。

#### ●流下能力

川が流すことのできる洪水の規模のことで、流量で表現される。流下能力が低い川ほど、氾濫する危険が高い川となる。

#### ●リバーフロント

川に面した所のこと。河岸や河畔などを意味する。

---

## 大阪市水環境計画

---

平成23年3月

大阪市 環境局 環境管理部

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10

ATCビルO's（オズ）棟南館5F